

ボードゲーム好きにおくるチョイ読みペーパー

# メビテン!

2022.01  
vol.13

TAKE FREE

mebiten.jp

ロングセラーのススメ  
カルカソンヌ20年の歴史  
私たち地方で頑張ってます!

ふちりカフェ日和

まつながのふりがえりコラム



# ロングセラーゲームのススメ

## やっぱりはずせない 年間大賞受賞作

毎年発表される「ドイツ年間ゲーム大賞(Spiel des Jahres)」。その受賞作、最終ノミネート作には、通称「赤ボン」と呼ばれるマークが印刷されることになります。



審査員が選ぶ「誰にでもオススメできる一作」という賞の性質から、コアな愛好家からは受賞作について賛否が出ることもあります。その安心感はピカイチと言えるでしょう。

日本語版も数多く出版されており、「赤ボン」の付いたパッケージは店頭でも探しやすいのも大きなポイントです。

受賞作も、ドイツゲームシーンの礎となった80年代、戦略ゲームが多かった90年代の作品、パーティーゲームやコミュニケーションゲームも目立つようになった近年と、時代を反映しつつジャンルの幅も広く、いろいろな世界を知るのにもピッタリと言えます。

## リメイク作で新たな魅力発見

発売されたときから変わらずずっと販売され続け、ロングセラーとなっているタイトルが数多くある一方で、一度は市場から姿を消したものの、リメイクされて復活という定番も少なくありません。

こういった形でリメイクされる作品というのは、根強い人気があったということに他ならず、やはり安心して楽しめるタイトルと言っていでしょう。リメイクされるのには訳がある、ということですね。

また、リメイクされる際に、アートワーク、デザインの変更やルールの見直し、拡張セットを含むなどの仕様変更がなされることもあり、新たな魅力をもった作品として生まれ変わっていることも。

例えば、数多くのリメイク作を手掛けるフランスのスーパーミープル社のリメイク作では、神殿が紙製タイルからミニチュア駒へと美しくパワーアップされた「ティカル」や、コンパクトになりお手頃価格となった「レクトベルソ」(コスモス社「ラ・ボカ」)などでこだわりのアプローチを見ることができます。

市場から消えたことで入手難となっていたものがリメイクされることで入手しやすくなるということも大事なポイントです。



毎月、多くの新作が「日本語版」として発売される一方、今回の「メビテン!」でも特集している「カルカソニャ」をはじめ、20周年を迎えた「プエルトリコ」(最新の日本語版タイトルは「プエルトリコ 20」)など、ファンの方に長く愛され「定番」と呼ばれ、ロングセラーとなっているゲームも数多くあります。

ここでは、そんな「定番ゲーム」、「ロングセラー商品」の見つけ方、楽しみ方をご紹介します。

## ジャンルの魅力、妙味を知るには 定番がイチバン!

一口に「ボードゲーム」と言っても、面白さの幅はとても広く、多くの「ジャンル」が存在します。

この、さまざまなジャンルを代表するゲームが定番ゲームとして数多く販売されているということも大きな魅力です。

例えば、「タイル配置ゲーム」を遊んでみたいと思ったら「カルカソニャ」や「キングドミノ」があります。「ハゲタカのえじき」を遊んでみたいと思ったら「ハゲタカのえじき」があります。ひねりのきいたすごろくが遊びたければ「ウミガメの島」があります。

というように、「このジャンルといえばこれ!」というゲームがすでに定番ゲームとして数多く出回っているのです。

近年のゲームは、さまざまなジャンルやシステムが組み合わされた複合的なものが多い傾向がありますが、それが遊ぶためのハードルを高めていたり、面白さの肝となる部分をわかりにくくしていたりということがあるのは否めません。

一方で、定番ゲーム、ロングセラーゲームは、面白さの肝となる部分がわかりやすく、さまざまな定番ゲームを遊ぶことは、その幅の広さを体感するのにピッタリと言えるのではないのでしょうか。

## いろんな感想を聞いたり、 読んだりしてみよう!

定番ゲーム、ロングセラーゲームは、数多く、長く遊ばれているだけあり、その感想や情報にアクセスしやすいという利点もあります。

ネットでタイトルを検索すれば、紹介記事や遊んだ感想はもちろんのこと、実際に遊んでいる様子がわかるリプレイ記事、アレンジルールがあることもあります。

「テラミスティカ」のように難しめのゲームであっても、定番ゲームになっているものもあります。そういったゲームであれば、遊ぶためのヒントなんかも見つけることができるでしょう。それはきっとあなたの手助けになってくれるはずです。

ゲーム会に行けば、遊んだことのある人からより詳しい「生の声」を聞くことも簡単です。ひょっとしたら、丁寧にルール説明をしてくれる人だっているかもしれません。

各ゲームショップの店員さんもよくご存じでしょう。

こういった情報は、必ずゲーム選びのヒントになるはずです。

昨今、世の中にさまざまな情報が溢れ、流行の移り変わりは早くなり、ついつい新しいゲームに目が行きがちかもしれません。

しかし、一方で、長く光を放ち続け、多くのファンを魅了してやまないゲームも数多く存在します。ゲーム選びに迷った時、「よく見るあのゲーム」も候補に入れてみてはいかがでしょうか。



# History of Carcassonne カルカソヌ20年の歴史

20世紀末2000年にリリースされ、21世紀の幕開けをSDJとDSPのダブル受賞で華々しく飾ったカルカソヌ。

世界遺産 歴史的城塞都市カルカソヌをモチーフにし、2021年夏に20周年記念日本語版が発売となりました。着実にロングセラーゲームの道を歩むこのゲームの20年の歴史を振り返ってみたいと思います。

2000年のEssen Spielで新作としてHans im Glückのブースに並び、その年の11月メビウスの頒布会で登録メンバーにいち早くお届けした作品です。2001年のドイツ年間ゲーム大賞(SDJ)ドイツゲーム賞(DSP)のダブル受賞を果たします。

シンプルなルール！

何度遊んでもおもしろい！

誰と遊んでも楽しい！

2人で遊んでも楽しい！

これがメビウスママのセールスコピーでした。また同封されている人型コマ(後にミーブルと言う)が愛くるしさを添えました。ミーブルはカルカソヌで初めて使用された形のコマです。その後ミーブルというコマも人気を得て独自の歴史を刻んでいきます。

大きなゲームタイトルをダブル受賞した作品の人気は瞬間に拡大していきます。人気ボードゲームのセオリーに従って拡張版の出版、競技として世界大会の開催、周年記念盤、Essen Spiel限定タイトルなどを発信し、基本セットはイラストを数度リニューアルします。カルカソヌファンを飽きさせない展開をしながらロングセラーゲームとしての足跡を残します。またコロナ禍で外出や人との接触が大きく制限されると、いち早く一人で遊べるルール(Carcassonne: Solo-Variante)をネット公開し、各自遊んだ得点をSNSで発信し楽しみました。日本ではカルカソヌと呼ばれファンを喜ばせました。さらに2021年夏カルカソヌフォトコンテストを開催しました。このゲームのモチーフであるフランスの世界遺産 歴史的城塞都市カルカソヌで2022年開催されるAnniversaryへの5組の招待者を決めるイベントです。残念ながら日本からは招待者が選ばれませんでした。多くの方がフォトコンテストに挑戦してくれました。

日本では2011年初参加のカルカソヌ世界大会で日本代表の小向真之介氏が準優勝に輝いたことで日本のファンの思いが一気に熱くなります。日本代表を決める日本選手権への参加者も増え、さらにはファンの執筆により書籍も数種類出版されました。

カルカソヌ

2-5人

35分

7歳~

デザイナー: Klaus-Jürgen Wrede  
メーカー: Hans im Glück

BOXの変遷



10周年記念版

ミーブル型BOX、ミーブルはクリスタル調のクールな可愛さでした。



20周年記念版

20周年記念版は品格のあるミッドナイトブルーのBOX。タイトル、得点ボードは20周年を祝う祝賀イラストになっています。



Essen Spielでのみ  
入手できる  
その年限定のタイトル



カルカソヌ最強指南書

日本のファンが執筆した書籍。



カルカソヌ  
世界大会の記録と  
日本選手権の歴史

<http://carcassonne.jp/result.html>



カルカソヌのロングセラーゲームへの道は、ゲームルールの素晴らしさはもちろん、デザイナー、パブリッシャー、ファンが様々なチャレンジや提案を発信し共に築き上げた歴史でもありました。

最後に、カルカソヌはBOXを刷新し新たな歴史の幕を開けました。これからも多くの方々に愛していただきたいゲームです。



# 私たちが地方で頑張ってます！



今や、さまざまなゲームの日本語版やオリジナル商品がいろいろな出版社から発売されるようになりました。

実は、ボードゲームの出版社は、東京だけでなく、地方にいくつもあるのです。

ここでは、そんな地方で頑張る三つの出版社に、地方ならではの頑張っていること、これまでのこと、2022年の抱負など、自由に書いていただきました。地方で頑張っている出版社を少しでも近くに感じていただければと思います。



## Engames

engames-s.com

富山県富山市五福1877

2017年創業

主なラインナップ：イッツアワンダフルワールド、スピリット・アイランド、プエルトリコ20、オルレアン

こんにちは。Engamesの杉木です。2017年の4月にEngamesを創業し、はや4年半が経ちました。ゲームの出版は2018年5月から始めましたので3年半となります。

私は家業の都合により、富山在住というところは変えられず、またサラリーマンを続けても近いうちに退社しなければいけない。そんな環境の中でできる仕事として、ボードゲーム小売店兼カフェ事業からスタートし、輸入販売事業、そして現在の主力である出版事業と順調に業態

を拡大することができました。



ゲーム出版は、地方でもデメリットがなくできる仕事だと感じており、実際ユーロゲームの本場であるドイツ

やフランスなどでは、出版社は国土の各地に点在しています。富山はボードゲーム工場が集積する上海とコンテナ船で結ばれており、また田舎なので土地も安く、むしろメリットのほうが大きいのではないかと感じています。

あえてデメリットを挙げるとすれば、ゲームマーケットに出店する際、輸送費や車両費が高むところと、出張が多くなることぐらいでしょうか（とはいえ、私は出張が好きなので苦にならないですが）。

2022年は、創業から丸5年を迎えます。ありがたいことに多くの出版案件を抱えさせていただいておりますので、爾々と海外ゲームのローカライズを進めていければと思っています。また、小さなゲームマーケットのようなイベントを2022年か2023年には富山でも開催できないかと考えております。開催の折には、ぜひ来県いただき、イベントを楽しむのももちろんのこと、富山の海の幸、山の幸を堪能していただければ！



## 株式会社ケンビル

kenbill.com

福岡県久留米市荒木町1532

2008年創業

こんにちは！株式会社ケンビル代表の丸田と申します。福岡県南部の久留米市から全国に向けて、たくさん魅力的なゲームをご紹介します。

ケンビルの創業は2008年。当初はテレビゲームの販売を中心とする会社でした。2012年にプラモデルなどのホビー・玩具系の販売に軸足を移し、2015年からはボードゲームの取り扱いを開始。並行して、年1本ほどのペースで自社オリジナルゲームの開発・販売を続けていました。転機となったのは2019年。縁あって海外ボードゲームの日本語版出版のお話をいただき、パブリッシャーとしての活動が本格的に始まります。以降、2021年末までに30タイトル超の海外タイトルの日本語版をリリースしてきました。

九州を拠点としていますので、関東や関西を拠点とされている方々に比べると、様々なハンデを背負っています。実店舗「さいふる」の運営を通してボードゲームのプレイ人口の増加は体感していますが、都市圏に比べればまだまだ少ないのが現状です。ゲームマーケットへの参加時にも、移動コストや物流コストをリスクとして勘案せざるを得ません（一度の参加で、出展料とは別に数十万円の費用が発生しています）。都市圏での新作体験イベントなどへの参加も難しく、広報手段も限られています。

こうした状況の中でもボードゲームの出版を続けることができてるのは、オンライン環境と物流が発達したこの時代であればこそ。地元福岡のみならず、全国の皆様から応援をいただけることを、本当に幸運に感じています。いつもありがとうございます！2021年は、「九州からでも強い発信力を！」を合言葉に、月に1回ペースでの動画配信「ケンライブ」を開始。より多くの方々にケンビルラインナップの良さを知っていただくことに注力してきました。

2022年も同配信を継続しつつ、作品の魅力をより強くお伝えする方法について、日々考え、行動していきたいと思っています。今後ともケンビルをよろしく願いいたします！



## Board Game Cafe SUNNY BIRD

sunny-bird.com

長崎県長崎市三川町1315-1

2012年創業

こんにちは！サニーバードの平です。サニーバードは、2012年にキッズスクール兼カフェとして長崎県長崎市でオープンしました。カフェオープン当初は、ボードゲーム好きな人たちが、主に知り合い限定でボードゲーム遊ぶ会を不定期で開催していました。10席くらいの小さな喫茶店という感じでしたので、そんなに大々的にボードゲームカフェを営業しているという感じではなかったですね。その後、世間的な需要の高まりもあり、今の店舗に移転して、2018年頃から販売事業を開始。出版事業は2020年から開始しました。

さて、私には今年の抱負が2つあります。まずは「魅力を伝える出版事業」です。どんどん大量の新作ゲームが出版されている昨今、それ自体は素晴らしいことですが、一部のビッグタイトル以外は、旬が短い、流れてしまっている、という話もよく耳にします。サニーバードが出版するタイトルに関しては、なるべくその魅力を丁寧に伝えていきたいと考えています。単純に内容の紹介も必要ですが、個人的に感じているのは、ボードゲームのルールブック読解の難しさがゲームの敷居を上げてしまっているのではないかとことです。今後は、ルールブックを読まなくても、ある程度遊び方が理解できる「チュートリアル動画」を毎回作るようにしていこうと思っています。

もう一つの抱負は「九州ボードゲームシーンの盛り上げ」です。ゲームマーケットなどの大規模なイベントは大都市に集中しており、地方から参加することはなかなか難しい現状です。九州にはボードゲーム関連の面白い人もたくさんいるし、面白い会社もたくさんあります。今後の情勢次第ですが、九州でイベントをやるならボードゲームの同人即売会よりは、遊んだり、体験したりするようなものが良いんじゃないか、と思っています。

今年も自分らしく、楽しみながら頑張っていければと思っています！！





# Möbius メビウスゲームズ おすすめグッズ

テーマ：ロングセラーゲーム

年月を経ても色あせないゲームがある。歴史を刻み愛され続けるゲームたち。

## ニムト

👤 2-10人 🕒 30分 🏠 8歳～ 💰 1,200円(税込)

デザイナー：Wolfgang Kramer メーカー：AMIGO

男性アイドルグループTOKIOは1994年にCDデビューし、当時最短で年末の紅白歌合戦に出場、それ以来連続出場24回を記録するアーティストです。奇しくも同じ年にニムトもリリースされその年のドイツゲーム賞1位に輝いています。

メビウスマハは、TOKIOとニムトの魅力がよく似ていると感じています。派手さを魅力にするのではなく、人を和ませる実力と存在感を持ち、どこまでも庶民派で、私たちに寄り添ってくれる優しさがある！それが不動の人気を誇る一番の魅力だと思います。



## ヒューゴ

👤 2-8人 🕒 30分 🏠 7歳～ 💰 3,200円(税込)

デザイナー：Wolfgang Kramer  
メーカー：AMIGO

1989年にミッドナイトパーティとして売り出されました。ルールにはヒューゴという単語が出てきました。ヨーロッパの子どもたちは妖精やオバケに親しみをもち育つそうです。そして現在はヒューゴというタイトルに生まれ変わったゲームです。ヒューゴと呼ばれるオバケが主役で鬼ごっこをしているようなすごろくがベースのゲームです。ボードはリバーシブルになっており、1989年以来変わらぬ基本のボード(表面)、オバケと鬼ごっこをするスピード感やスリル間を盛り込んだバリエーションルールを楽しむボード(裏面)があります。小さなお子さんと一緒にファミリーで楽しんだり、また大人が童心にかえってキャッキャと声をあげながら楽しく遊んでみてはいかがでしょうか。



# テンデイズゲームズ おすすめゲーム

## レクト・ベルン

👤 2-6人 🕒 30分 🏠 8歳～ 💰 3,850円(税込)

デザイナー：Inka and Markus Brand  
メーカー：Super Meeple

空間認識力が試される、協力要素のあるパズルゲームです。プレイヤーは、お題のカードに描かれた通りの見た目になるように、パートナーとブロックを積み上げていきます。

しかし、そう簡単にはいきません。

自分と向かい合ったパートナー、双方から見て、お題通りの見た目になっている必要があるのです。相手のお題はどのようなお題なのか。相手からどのように見えるか。時には見えなくなるように積みまなければならない。

イメージを膨らませ、うまく共有し、手早くブロックを積みましょう。



## キングドミノオリジンズ

👤 2-4人 🕒 25分 🏠 8歳～

💰 4,180円(税込)

デザイナー：Bruno Cathala  
メーカー：Blue Orange

ドイツ年間ゲーム大賞にも輝いた「キングドミノ」に新たな仲間が加わりました。

工夫次第でさらなる高得点が狙える「火山」、キノコや魚、マンモスといった「資源」、さまざまなボーナス得点のカギとなる「部族」が登場する三つのモードは、いずれも「キングドミノ」から戦略性が増しており、「キングドミノ」中級編といったところ。

明るいテイストのイラストはもちろんのこと、可愛らしいデザインの資源駒も魅力的な、家族揃って楽しめるイチオシファミリーゲームです。

(拡張セットではないため、「キングドミノオリジンズ」単体で遊ぶことが可能です)





## ふらり カフェ日和

今回ワシは旧正月も近いことじゃし、横浜中華街に行ってきましたぞ。横浜で頑張るゲームカフェで遊んで、店長さんおすすめの中薬料理屋で美味しい食事堪能してきたのじゃ。



カラフルなロゴが出迎えてくれる店内は販売スペースとプレイスペースに分かれていて、遊んでから気に入ったゲームを買うことができます。たくさんのゲームに囲まれて、詳しいスタッフさんに相談しながらあれこれ選ぶ楽しい時間が過ごせることでしょう。ゲーム出版も精力的に行っていて、最近ではファミリーゲームの古典としてリメイクが望まれていた『1号線で行こう!』の日本版を手掛けました。「制作にあたって、かつてのファンの方のみならず、最近ボードゲームを始めた、という方に手に取っていただきやすいように心掛けました。長く愛されるゲームだと思っているので、旧版の説明書ではちょっと足りないかな、と感じるところの解説の図などを補足して分かりやすくしました。」と語る店長さん、これからも期待していますね。



**よこはまのボードゲーム屋さん リゴレ**  
営業時間：水・木・金 13:00~22:00  
土日・祝日 13:00~23:00  
アクセス：JR根岸線 石川町駅 徒歩4分  
みなとみらい線 元町・中華街駅 徒歩12分  
神奈川県横浜市中区山下町162-1 飛栄ビル201  
rigoler.jp

@rigoler\_

プレイスペース使用料金

平日：1時間500円（最大2,200円）  
土日祝：1時間600円（最大2,600円）  
●飲食物の持ち込み可。  
くわしくはホームページをご覧ください。



**台湾・薬膳料理 青葉新館**

アクセス：みなとみらい線 元町・中華街駅  
3番出口より徒歩2分

食を通して体の内から健康になる薬膳料理。ここ青葉では単品の料理からコース料理まで様々な薬膳料理が楽しめます。ママさんの笑顔に迎えられて、心も体も癒される店です。今回いただいた「薬膳ヒスイ海鮮タンメン」、「台湾風牛バラ高菜そば」とともに体がガカガカと温まるお料理でした。



リゴレ店長からのおすすめポイント  
とにかくママさんが履きたくて、居心地が良いお店です!



## まつながのふりかえりコラム

こんにちは、まつながです。

冬はあたたかい室内でボードゲームを遊んでいるときがいちばんです。



カルカソヌには20年の間にたくさんの拡張作品が生まれました。ところで、ドイツのデュッセルドルフ空港の私のかばんをご覧ください。何やらポスターのようなものが刺さっていますね。カルカソヌ ドイツマップという、カルカソヌの拡張作品です!

2019年のボードゲームの祭典エッセンシュピールにて購入しました。ドイツの他にもフランスやイギリスなど何種類かマップがあります。ドイツで購入したドイツマップのカルカソヌ。わたしにとってのいちばん思い出のあるカルカソヌです。



マップ上のマスにタイルを置いていくので、遊んでいたら思わぬ方向に街が広がってしまい、全体を移動させなきゃ……というカルカソヌあるあるは防げます。ただそもそもマップが大きすぎて、大きなテーブルじゃないとマップを広げられないのですが(笑)

再びドイツに行けるまで、ドイツマップで旅行気分を味わおうと思います。みなさんは、思い出のあるカルカソヌはありますか? 2022年もいい年になりますように!

page10

まつなが (松永 彰)

ボードゲーム専門の総合情報サイト、ボドゲーの管理人。企画や新しい機能の設計、執筆など何でもコツコツやっています。  
bodge.hoobby.net



編集後記

「今回こそ、積み読・積み読・解消なるか」と年末年始はいつも思うのですが、気づけば仕事始め……みなさんはどうですか?

**mebiten.jp**

✉ mebitengames@gmail.com

@mebitengames

「メビテン!」を置いていただけるお店を募集しています。

編集：メビウスゲームズ、テンデイズゲームズ、長塚美奈子  
本書の無断転載・複写ご遠慮ください。